

私がまちづくりスタッフです

その27

東向島一丁目
宗像 信司さん
(一言会・理事)



昭和17年、墨田区東向島(現住所)で生れる。生まれも育ちも一寺言問。正真正銘の一言会。宗像さんの家族は、お父さん、お兄さんも大工さん。二人のお子さんも、大学で建築を専攻している。建築家の家系である。

(旧)東京都建築士事務所協会、墨田支部副会長。不燃化促進設計事務所協会全員の、まちづくりに深い関係のある職業で、建物の設計、相談はもとより、古く危険なブロック塀の診断をするなど、町の建物の身近な問題を、お仕事にしている。

担当理事会で、南栄会の会員でもある。宗像さんに「はとほっと」の管理人になっていただいた。

「逃げないですむ町にするには、建物の不燃化、道路作り、客積率のアップを真剣に考えなければいけない。一寺言問のように狭い敷地では効率のよい建物が建てられること、細街路拡張事業というのがあって、家を建てる時、道路として下からなければいけない部分を、区が買い取ってくれる。有利な助成は利用すべきですよ。」とすが、専門分野の話になると指摘が細かい。

町会の青少年部の部長もなさっていて、「談話のタベ」は好評である。中肉中背、服水屋のせい、あまり表にでたがらない。意外や意外、コーラスが上手。墨田混声合唱団に20年も在籍していたことはあまり知られていない。(純)

いちでらことい
一言会/防災まちづくり瓦版
第29号 平成4年12月1日発行
編集/一言会を防災のまちにする会・編集局
高原純子・若木菊枝・植竹モト
阿部洋一・明間 藤・中村淑子
編集協力/マヌ都市建築研究所
発行/一言会を防災のまちにする会・事務局
墨田区都市整備部開発促進室内
〒130 墨田区吾妻橋1-23-20 Tel.(5608)1111



▲「まちづくりフォーラム'92としま」で、活動報告をする高原さん。

10月11日、豊島区民センターで「まちづくりフォーラム'92としま」が開催されました。すみだで始まったまちづくりフォーラムも、今年で3年目。今年には150人余りが参加し、13のまちづくり団体を中心として、「まちづくりの輪をどのように広げていくか」というテーマでディスカッションされました。今回のテーマはまちづくりにおける最も重要な難しい課題であるため、どの団体も試行錯誤しているらしく、活発に意見が飛び交い、盛会でした。

まちづくりフォーラム'92としま

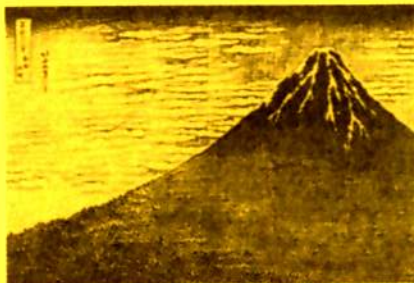
一言会からは理事や事務局など10名が参加。瓦版編集局員の高原さんが広場の整備や瓦版の発行について活動報告をしました。

10月30日に開かれた反省会では、次回のフォーラムをどこで開催するか、次回から現地を見学できる機会を設けたい、などの意見が多く出され、参加団体の目は早くも次回のフォーラムに向けられている様子でした。

「所沢まちづくりフォーラム」にも参加



11月11日、所沢青年会議所が主催して開かれた「所沢まちづくりフォーラム」に、一言会もパネラーとして招かれました。佐原さんが代表として出席し、一言会の活動を報告しました。一言会の他には、町田市、川越市の「葦の会」が招かれていました。



赤富士とは...

葛飾北斎の名を世界に轟かせた錦絵「富士三十六景」の一つ「凱風快晴」の通称。夏から秋にかけての早朝、富士は僅かな時間、朝焼けに赤く染まるという。赤富士はその一瞬を捉えたものである。

用の一環として「空き缶の塀をつくる」というアイデアがありました。その第一号「赤富士」が11月4日にお目見えしました。第一寺島小学校4年2組の児童が3か月余りをかけて製作したもので、アルミ缶を540個使った、幅27m、高さ1.5mの壁面です。マスコミの評判もよく、翌日の朝刊各紙の紙面を賑わせました。

一言会では、第2、第3のアルミ缶壁面を募集しています。アルミ缶を収集して楽しい壁面を製作し、広場の連絡窓口までご連絡下さい。

なお、この広場では空き缶の回収は行っておりません。アルミ缶のリサイクルは会古路地の方へお願いします。



同校PTAでは、今後とも、各種事業にからめてこのような催しを行い、リサイクル活動を継続的に行う予定です。

なお、優勝は向島五丁目東町会でした。(洋)

高田製菓跡地、ただいま検討中

一寺言問地区防災まちづくりの計画で「防災広場」の整備用地となっている高田製菓跡地は、「広く地域の意見を集めながら進めていこう」という方針で検討が進められています。

一言会では、「地域の意見をどのように聞き、どのようにまとめるか」「イメージを沸かせるために見学会を開催してはどうか」などを検討課題に、10月29日の担当理事会、11月2日の理事会と検討

を重ねてきました。大きな課題だけに様々な意見が飛び交い、これまで以上に白熱した議論が展開されています。

近々、地域のみなさんに日頃考えている利用のアイデア、意見を出してもらって、具体的な利用策の検討に入る予定です。「こんな広場が欲しい」「こんな利用ができたなら素敵だな」など、一緒に考えていきましよう。

